

平成30年5月分 三河港 貿易概況（速報）の要旨

平成30年5月分について、輸出は「金属鉱及びくず」などが増加したものの、「船舶類」、「自動車」などが減少したことから対前年同月比2.6%の減少となった。また、輸入は「有機化合物」などが増加したものの、「自動車」、「果実」などが減少したことから、同4.4%の減少となった。
その結果、差引額は1,201億円（同1.6%の減少）となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
三河港	1,816億円	▲2.6%	614億円	▲4.4%	1,201億円	▲1.6%
	14カ月ぶりの減少		3カ月ぶりの減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 金属鉱及びくず	8億円	+138.5%	輸入	増加品目	(1) 有機化合物	6億円	+61.6%
		(2) その他の化学製品	16億円	+24.9%			(2) 金属製品	3億円	+94.0%
		(3) 荷役機械	8億円	+65.2%			(3) 自動車の部分品	2億円	+85.2%
	減少品目	(1) 船舶類	—	全減		減少品目	(1) 自動車	517億円	▲5.1%
		(2) 自動車	1,736億円	▲1.1%			(2) 果実	—	全減
		(3) 鉄鋼	14億円	▲27.7%			(3) 絶縁電線及び絶縁ケーブル	—	全減
地域別動向	アフリカ、北米が減少、中南米は増加				地域別動向	西欧、北米が減少、アフリカは増加			

（参考）ドルレートは、109.08円（前年同月比2.1%、2.39円の円高）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。